

教育委員会だより

第8号
2018.3.1

私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会づくりの担い手となるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介していきます。



平成29年度を振り返って

大牟田市教育委員会

教育長 安田 昌則

市制100周年という大きな節目を迎えた平成29年度、教育委員会と市立学校は、さまざまな教育活動や事業に取り組んでまいりました。

九州で初の開催となった12月のユネスコスクール全国大会では、大会前日の公開授業を含めて、ユネスコ本部や全国各地から本市を訪れていただきました。ESDに携わる多くの方々に、本市のESDの取り組みを直接紹介するとともに、全国そして世界へ向けて発信する機会となりました。

8月には、10年ぶりとなる「子ども議会」を開催しました。市立中学校と特別支援学校の代表生徒が議長や議員として、未来の大牟田のまちづくりについて真剣に考え、議論し

てくれました。その姿を大変頼もしく感じたところです。傍聴に来てくれた小学校6年生も、きつと感じるものがあつたことと思います。

さらに、新たな取り組みである海洋教育の推進においては、東京大学との連携のもと、有明海に面した本市の特色を生かした研究と実践を進めることができ、海への理解を深めた児童たちが学習の成果を披露してくれました。

さて、平成32(2020)年度から全面実施される新しい学習指導要領では、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育成することが目指されています。教育委員会と市立学校は、このことを十分に踏まえながら、未来を創る児童生徒の育成に一層努めてまいります。市民の皆様には、これまでも同様、本市教育へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

海洋教育こどもフォーラム

テーマは「海と人との共生」

1月26日、「海洋教育こどもフォーラム2018 in おおむた」を文化会館で開催しました。

教育委員会は、28年10月に東京大学と協定を結び、海洋教育を推進しています。今回のフォーラムは、九州における海洋教育促進拠点である大牟田市、鹿児島県南さつま市、佐賀県玄海町の3つの自治体にある「海洋教育バイオニアスクール」の児童が一堂に会し、学習の成果を発表し交流することで、「海と人との共生」への理解と考え方を深めることを目的とするものです。

本市から天領小学校、みなと小学校、天の原小学校、南さつま市から市立坊津学園、玄海町から町立玄海



●海洋教育とは

人類は、海洋から多大な恩恵を受けるとともに、海洋環境に少なからぬ影響を与えており、海洋と人類の共生は国民的な重要課題となっています。

海洋教育は、海と人との共生のために、「海に親しみ」「海を知り」「海を守り」「海を利用する」学習を推進するための教育であり、「海を通したESD」とも呼ばれています。



「三池港」(大牟田市ホームページより)

東京大学の及川幸彦主幹研究員が今後への期待を話しました。

みらい学園が参加して活発な意見交換を行い、交流を深めました。東京大学から田中智志教授、日置光久特任教授、及川幸彦主幹研究員、川上真哉特任研究員が出席し、指導や助言を行いました。今後本市は、「海とともに生きる」地域として、研究と実践を進めていきます。

平成29年度

学校教育功労者表彰式

1月13日に文化会館で開催したユネスコスクール子どもサミットの中で、学校教育功労者表彰式を行いました。

この表彰は、本市の学校教育の振興に特に功績があった個人や団体に對し、教育委員会が行うものです。

今年度は、32の個人・団体の皆さんが受賞しました。

受賞した皆さんには、これからもその豊富な知識と経験を、本市で学ぶ児童生徒のために生かしてもらえることを期待しています。



受賞した個人・団体

【登下校時の見守り】

阿津坂 正晴さん
井上 紘一さん 大橋 麗子さん
小森 美智子さん
猿渡 かずみさん
塚本 裕一郎さん
手島 昭雄さん 鳥飼 健敏さん
西田 義勝さん 西野 征代さん
原口 澄代さん 前原 稔さん
松永 武己さん 宮地 保博さん
奥園 紀昭さん 福永 信正さん
宮崎 義勇さん 木村 吾郎さん
森 サツエさん 吉川 忠雄さん
井田 進さん 奥蘭 繁俊さん
金子 章さん 柴田 敏明さん

【読書ボランティア】

井上 寿美子さん
久保田 瑞代さん
羽山台小学校読書ボランティア
(団体)

【小学校スポーツクラブ代表者・コーチ】

柏村 友幸さん

【学校医】

古賀 浩介さん 辻 裕子さん
松岡 由香里さん
丸山 正夫さん

〔順不同〕

小学校の新しい英語教育を先行実施します

【市立小学校の新しい英語教育のスケジュール】

年度 学年	29年度	30～31年度 (先行実施)	32年度 (全面実施)
3・4年生	大牟田市独自の英語活動 年20～35時間	外国語活動 年35時間	外国語活動 年35時間
5・6年生	外国語活動 年35時間	外国語活動 年70時間	外国語科 年70時間

平成32（2020）年度から新しい学習指導要領が全面的に実施されることになっており、小学校3・4年生で外国語活動が新たに始まり、5・6年生で外国語（英語）が教科化されるなど、新しい英語教育が始まります。

全国に先駆けて小学校の英語教育に力を入れ、実績を積み重ねてきた大牟田市は、これにいち早く対応します。30年度からすべての小学校で、新しい学習指導要領の内容を先取りして、3・4年生は年35時間の、5・6年生は年70時間

間の外国語活動を実施します。

1・2年生については、これまでどおり大牟田市独自の英語活動を実施します。

土曜授業と夏休みが変わります

このため、年間の授業時数（コマ数）が増えます。小学校で、土曜授業をこれまでの年3回程度から年6回程度に増やすとともに、夏休みを2日短縮して、7月21日から8月29日までとします。



英語でコミュニケーションを行う力を育てます

■問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室（☎412867）